

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-260026(P2003-260026A)

【公開日】平成15年9月16日(2003.9.16)

【出願番号】特願2002-64022(P2002-64022)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 1/00

A 6 1 B 19/00

A 6 1 J 3/07

A 6 1 M 25/01

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 J 3/07 A

A 6 1 M 25/00 3 0 9 B

A 6 1 M 25/00 4 5 0 B

A 6 1 M 25/00 4 5 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体内に挿入されて検査、治療又は処置などの医療行為を行う挿入部を磁気的に誘導する医療用磁気誘導装置において、

前記挿入部の少なくとも一部に設けた磁石と、

前記磁石に作用する磁界を発生させる複数の電磁石を有する磁界発生手段と、

前記被検体を前記磁界発生手段の中に収納する患者収納領域と、  
を備え、

前記磁界発生手段は、分割又は開閉の機構を有することを特徴とする医療用磁気誘導装置。

【請求項2】

前記挿入部はカプセル型医療機器であり、

前記磁界発生手段は前記カプセル型医療機器に設けた磁石に作用して体腔内での進行方向を誘導すると共に、前記カプセル型医療機器を体腔内中で移動させるための動力発生手段であることを特徴とする請求項1に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項3】

前記挿入部は内視鏡、カテーテル、ガイドワイヤなどの管状部材であり、

前記磁界発生手段は前記管状部材に設けた磁石に作用して体腔内での挿入方向を磁気的に誘導することを特徴とする請求項1に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項4】

前記磁界発生手段は、略キューピック状であることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項5】

前記略キューピック状の磁界発生手段は、患者収納領域を有することを特徴とする請求項4に記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項6】**

前記磁界発生手段は、患者収納領域を有することを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項7】**

前記磁界発生手段は、箱型容器状であることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項8】**

前記磁界発生手段は、前記電磁石を容器に内蔵することを特徴とする請求項7に記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項9】**

前記磁界発生手段は、容器内に便器状の椅子を設けたことを特徴とする請求項7に記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項10】**

前記複数の電磁石のうち、1つが便座形状であることを特徴とする請求項7に記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項11】**

前記磁界発生手段は、椅子型の台と一体化していることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項12】**

前記磁界発生手段は、回転磁界を発生させる回転磁界発生手段であることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

**【請求項13】**

前記磁界発生手段は、患者ベッドに取り付けられていることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0009

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0009】**

**【課題を解決するための手段】**

本発明の医療用磁気誘導装置は、被検体内に挿入されて検査、治療又は処置などの医療行為を行う挿入部を磁気的に誘導する医療用磁気誘導装置において、前記挿入部の少なくとも一部に設けた磁石と、前記磁石に作用する磁界を発生させる複数の電磁石を有する磁界発生手段と、前記被検体を前記磁界発生手段の中に収納する患者収納領域と、を備え、前記磁界発生手段は、分割又は開閉の機構を有することを特徴とする。